

野崎類さん(1997年生まれ)

豊田工科高校 出身
東海学園大学 経営学部卒業

株式会社ヒサダ

安城市里町三郎11
<http://www.hisada-g.co.jp/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学→ドア周辺パーツなどの製造をおこなう企業に就職→工機部に配属

「就職活動では、自動車関係のものづくり企業へ就職したいと考えておりました。数ある製造業の中から私が選んだのは、独自の生産技術で、ドア周辺のパーツやシート関連部品、ATMの部品などを製造するヒサダ。ヒサダは工場が広くあります。あとは、入社当時はで

「仕事について」
「就職活動では、自動車関係のものづくり企業へ就職したいと考えておりました。数ある製造業の中から私が選んだのは、独自の生産技術で、ドア周辺のパーツやシート関連部品、ATMの部品などを製

「大学で学んだことは?」
「東海学園大学は、社会見学などの課外授業がたくさんあります。実際に社会人の方の話を聞く機会や、現場の雰囲気を感じることができます。また、野球部の活動の中では、自己管理能力が身についたと思います。自分に必要な能力を自分で考えて伸ばしていくことの大切さは、社会人となつた今も活かされていると感じます」

「野球部として3年間、一生懸命頑張ったことが一番の思い出です。厳しい練習が多かったのですが、技術面だけでなく精神面でもとても成長できたと思っています。特にピッチャーなので、ピンチを迎えた場面でも、動搖せず、冷静に対処することを学びました。動搖はほかの選手にも伝染するため、焦っているほど落ち着いて行動するようにしています。また、上下関係や礼儀についても学びました。社会人となつた今、その点を上司や先輩に褒められることが多い野球を通じて多くの学んだと思います」

—学生時代



きなかつた作業も今ではスムーズにできるようになっていることが多いです。少しずつですが、成長を日々感じられることがやりがいです」

人の意見に振り回されずに、自分自身を貫いてください。

「工機部という部署で、プレス機などの金型を直すなどの保全業務をおこなっています。また、現場の人たちの意見を聞いて作業環境の改善に取り組んでいます。金型の修理もおこなっていますが、まだまだ勉強中です。金型は精密機械ですので、私にはまだ直すことが難しいのです。先輩は問題のある金型に触れる、どこが問題の箇所なのかをすぐに見つけることができます。私は先輩に教えてもらつてなんとか発見できるのですが、仕事の質やスピードとともに上司や先輩に早く追いつきたいと思っていました」

「自分が好きなことを一生懸命頑張ってほしいです。人の意見に振り回されずに、自分自身を貫いてください。体育祭でかっこいい姿を見せるとか、文化祭で盛り上がるとか、そういう経験は、社会に出たときの財産になりますよ!」

—メッセージ—



18歳 豊田工業高校野球部のピッチャーとして活躍。

22歳 東海学園大学に進学。大学野球を統一、最優秀防御率賞&ベストナイン賞を受賞するなどの成績を残す。

23歳 ヒサダに入社。先輩の質とスピードに早く追いつけるよう勉強に励む日々。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



患者さんがお口の中に

関心をもってもらえることがやりがい。

信頼される
歯科衛生士になる!

横山 琴梨さん(1999年生まれ)

碧南高校 出身

慈恵歯科医療ファッショントークン専門学校 卒業

医療法人睦和会ひろ歯科クリニック

碧南市三度山町4-5-1
<http://www.hiro-dent.jp/>



なるためには

- 必要資格 / 歯科衛生士
- 主な進路 / 高校卒業→専門学校に進学→座学や実習を通して基礎を学ぶ→国家試験に合格し、歯科衛生士の資格を取得→歯科医院に就職

—
学生時代

「高校時代は、茶華道部の部長をしていました。部長に立候補したのは、消極的な性格を変えたいという思いからです。これまでにない経験だったのですが、苦労も多くありました。が、部員一人ひとりと「コミュニケーションをとり、少しずつまとめられるようになりました。3年生になつたとき、後輩がついてくれるようになつたことは、うれしかつたであります。自信にもつながりました。高校卒業後、慈恵歯科医療ファッショントークン専門学校に進学しました」

専門学校で学んだことは?

「初めてに学んだのは、歯の形態、虫歯や歯周病についてなどの基礎。実技の授業ではスケーラーという道具で歯石を除去するスケーリングという手技や、フッ素を塗るフッ化物塗布、歯面研磨、仮歯を作る講習などを受けました。患者さんの対応を想定したデモンストレーションを学生同士でおこなつこともあります。慣れないと後立つてきます。慣れないことばかりでうまくいかず、落ち込むことも多かったです。親身になって悩みを聞いてくれたり、一緒に一喜一憂してくださる先生の存在が支えになりました」

—仕事について

「初めてに任されたのは、先生のアシストです。治療に時間がかかると患者さんの負担も大きくなってしまふので、スムーズにできるよう必要

な時代は、茶華道部の部長をしていました。部長に立候補したのは、消極的な性格を変えたいという思いからです。これまでにない経験だったのですが、苦労も多くありました。が、部員一人ひとりと「コミュニケーションをとり、少しずつまとめられるようになりました。3年生になつたとき、後輩がついてくれるようになつたことは、うれしかつたであります。自信にもつながりました。高校卒業後、慈恵歯科医療ファッショントークン専門学校に進学しました」

歯科衛生士の仕事とは?

「虫歯や歯周病にならないための指導とお口の中のお掃除、ケアをすることが主な仕事です。歯磨きの仕方から、どうしたら虫歯にならないのか、食生活についてまで幅広いことを指導します。患者さんによって治療へのモチベーションが違うのが、直してほしいところをどういう言い回しをしたら柔らかく伝わるのかを常に考えています。「ミニユニケーションが大切な仕事ですね」



—なるためには

「まずは、歯科衛生士の国家資格をとることが第一歩です。歯科助手は患者さんのお口の中をさわることできませんが、お口の中をさわって掃除やケアができるのが歯科衛生士。国家資格をもっているからこそできる仕事です。私がこれまでいろんな経験をしてきて思うのは、高校時代は勉強以外にもさまざまなことに挑戦して努力することで、自分の成長にも自信にもつながるということ。努力はいつか実る日があるので、何事にも全力で取り組むことを心がけてほしいと思います!」



18歳 消極的な性格を変えるため、茶華道部の部長に立候補。

21歳 歯の知識、スケーリングなどの技術を学ぶ。歯科衛生士免許を取得。

22歳 患者さんから信頼される歯科衛生士をめざし、日々、経験を積む。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



河辺 康秀さん(1998年生まれ)
豊橋中央高校 出身

豊鉄バス株式会社
豊橋市植田町新津田38
<https://www.toyotetsu.jp/>

なるためには

- 必要資格 / 普通自動車免許
- 主な進路 / 高校を卒業→普通自動車免許を取得→バス会社に入社→3年後に大型2種免許を取得→研修を経てバス運転士となる

さまざまな方々の移動手段として、地域のみなさんの生活を支える。

「高校3年間を振り返ると、主に部活動のボランティア活動に専念していましたことを思い出します。募金や署名活動、リアカーを引いてゴミを拾うリアカーボランティアなどさまざまな活動をしていました。日本を取り巻く社会問題を理解でき、視野が広がったと思います。高校時代はバスで通学しており、その際にバス運転士さんの運転技術はもちろん、お客様への対応が非常につらいで、私もそんなバス運転士になりたいと思っていました。就職活動で求人を見つけたときははうれしかったですね。そして、幼いころから憧れていたバスの運転士をめざし、豊鉄に入社しました」

――仕事について――

「バスの運転士に必要な大型2種免許は、普通自動車免許を取得してから3年間が必要です。そのため、入社後は2週間の新人研修をして豊橋鉄道に出向し、渥美線の車掌として勤務しました。車掌業務は、この案内や切符、お客様のトラブル対応などさまざま。最初は指導員の先輩が付いて仕事を教えてくれます。独立立ち後は、うまくいかないこともありますでしたが、徐々に仕事にも慣れていきました」

仕事内容を教えてください。

「3年間の出向を経て、現在は豊鉄バスに戻りました。大型2種免許を取得してから一般路線バス運転士として勤務しています。見習い期間を経てまだ1ヶ月目、やはり最初は

――やりがい――

「バスは公共交通機関なので、お客様を安全に輸送することが私たちバス運転士の仕事。常に冷静な対応が求められるので、1日の乗務が何時もなく終わると達成感があります。焦ってしまってミスにつながりますし、お客様にも不安が伝わってしまうので、常に冷静に対応できるよう心がけています。通勤や通学はもちろん、高齢者やお体の不自由な方々の移動手段として、地域の方々の生活を支える仕事にやりがいを感じます。また、常連のお客様から『案内がていねいだったよ』『声がよかったです』と言われることもあるので、私の仕事を見てくださっている

人も冷静に対応できていると自信になっています」

――なるためには――

「この仕事は **普通自動車免許** が必要です。バスはオートマもありますが、業務上、ミッションで免許取得するといふ思います。バス運転士に必要な大型2種免許は、入社後に教習所に通つて取得できますし、最初は指導員の先輩が付いて教えてくれるので安心してください。高校時代の経験は社会人になつてから役立つこともあるので、1日1日を思いっきり楽しみましょう。途中で諦めてしまうこともあるかもしれません、焦らず冷静に行動することで見えてくることもありますよ」

ありがとうございます」といいました。



18歳

↓
19歳

↓
22歳

高校はボランティア部に所属、社会問題に理解を深める。

豊鉄バスに入社。新人研修後、出向で豊橋鉄道渥美線の車掌として勤務。

大型2種免許を取得し、憧れのバスの運転士として働きはじめる。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>





中道 祐希さん(1994年生まれ)
岡崎東高校 出身
愛知大学 経済学部卒業

株式会社アドプランナー
岡崎市小呂町字1-4
<https://www.ap-net.co.jp/>

成功させることが地域貢献につながる。

まだ市場にない求人を発掘して雇用を

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学し、経済学について学ぶ→求人の広告代理店に就職→企画営業として勤務

「高校時代は弓道部の活動以外に生徒会も務めていたのでとても充実していました。先生の推薦で生徒会に挑戦したのですが、誰かに指名されて任せてももらえることってなかなかないのでうれしかったです。将来の目標が具体的に決まっていなかつたので、大学で見つけられたいいなという気持ちで愛知大学に進学しました」

大学で学んだことは?

「経済学部だったので経済のことは一通り学びました。軽音楽部に勤しんだことも思い出に残っています。部長を務めていたのですが、文化祭やライブを開催するときは学校の許可をとる必要があります。さまざまに交渉をするなかで、上手な言い回しや言葉選びのスキルが身につきました。それは社会に出たいとも役立っています。就活ではとにかく自分分析をして、自分に合う営業という仕事をたどりつきました。卒業後は、人材採用のサポートなどをおこなうアドプランナーに就職しました」

――仕事について――

「1年目はとにかくお客様のところに足を運びました。初めは50件電話をして、1件アポがとれるかどうか…。アポがとれても契約がとれるかどうかはまた別。心が折れそうになるときもありましたね。電話では話を聞いてくれなかつたけど、会うと意外とうまいことになりました。あきらめずに足を運ぶことは間違つていなかつたと思います。今後

――やりがい――

「やりがいを感じるのは、お客様が求める理想の人材を採用できたときです。感謝の言葉がモチベーションになります。ある企業の人事部の採用をお手伝いさせていただいた

ことがあったのですが、その後、そのときに採用された方と一緒に仕事をすることになつたんです。そのときは本当にうれしかつたですね」

18歳 弓道部、生徒会と積極的にさまざまな活動に取り組む。

↓
22歳

愛知大学に進学。部長を務めた軽音部の活動が思い出に。

↓
27歳

企業の成長や地域貢献に関わることにやりがいを感じる。



先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



――学生時代――

――なるためには――

「さまざまな業界の方と関わることができる仕事なので、好奇心旺盛な人に向いていると思います。初めは仕事がうまくいかなくても、地元が好きで地元に貢献したいという気持ちがあれば大丈夫です。学生時代は、自分のまわりに目を向けて、世の中にあるたくさんの仕事、たくさんの人の生き方を知つてください。あとは、自分は何をしたいのか、何に興味があるのか、それを普段から少し意識するだけで、時間がかかるかもしれません、自分の将来が徐々に見えてくると思いますよ!」

「人事内容を簡単に教えてください。」

「人材採用のお手伝いが私の仕事。さまざまな業界のお客様がいるので、『困りごとやその原因は何か?』それぞれのニーズをくみとることが大切です。話を深掘りすることで、意外などこに問題が隠れたりするので、言葉だけにとらわれず、ヒアリングをします。求人広告を出したあとのフォローも大切。反響がないと意味がないので、いいところ、悪いところを一緒に振り返ります。まだ市場にない求人を発掘し、雇用を成功させることは、地域貢献にもつながっていると思います。企業の成長や地域貢献に関われるところがこの仕事の魅力です」





**安全運転も大切な仕事。組合員のみなさんの
お宅に商品をお届けします。**

近藤 隼臣さん(1995年生まれ)

安城学園高校 出身

愛知学泉大学 現代マネジメント学部卒業

生活協同組合コープあいち

西尾市中畠町卯新田上8-1(西尾センター)

<http://coopaichi.tcoop.or.jp/>

挑戦は
経験値になる!!

- 必要資格 / 準中型自動車免許
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学→普通自動車運転免許を取得→コープあいちに入協

「安城学園高校の商業科で、全商簿記3級全商電卓2級情報処理検定1級を取得しています。部活は、軽音部とビーチバレー部に所属していました。軽音部ではドラムを担当し、部長をやっていたので、先頭に立ってみんなをひっぱっていく力が身についたと思います。また、バンドはステージに立つので人前に出て堂々と何かをする勇気はこのころに身につきました。文化祭のオーブニングステージで、ドラムソロをしたことが1番の思い出です」

「大学で学んだことは?」

「高校の系列大学である愛知学泉大学現代マネジメント学部に進学し、主に社会人基礎力を学びました。大学が推奨する社会人基礎力とは、前にも踏み出す力、考え方、技術、コミュニケーション力の3つの要素から成っています。グループディスカッションや発表、ボランティア活動など、就職してからも実践的に役立つスキルを身につけることができました」

「就職活動では、食べることが好きだったので、食品関係を志望していました。なかなかでコープあいちを見つけました。母親が組合員だったこともあって、商品に親しみがあり、入協を決めました。また、コープあいちでは組合員のみなさんとコミュニケーションをとるなかで、悩みを聞き商品を提案する機会が多くあります。大学で学んだ課題発見力や解

決能力をいかせると思ったのも就

職先を選んだ決め手のひとつです」「地域担当として、組合員のみなさんのお宅に商品をお届けしていく職先を選んだ決め手のひとつです」

「地域担当として、組合員のみなさんのお宅に商品をお届けしていく月日も長いから仮配属で先輩に同行して組合員のみなさんを増やすことがあります。曜日にもよりますが、一番多いときは1日60件ほどのお宅を回ります。入協直後は、座学でコープあいちのことについて学び、入協2ヶ月目くらいから仮配属で先輩に同行して組合員のみなさんと一緒に活動(営業)と運転研修、その後に本配属された西尾センターで地域担当をしています。トラックは車幅も広く荷物もあるので慎重に運転しなければなりません。安全運転もコープあいちの仕事、マナーをしっかりと守って日々運転しています」



「この仕事はトラックの運転をするため、入協前に**準中型自動車免許**の取得が必須となっています。もちろん、入協してから研修があるので安心してください。また、組合員のみなさんと会話ををして生活のお悩みを手助けすることができます。大切なのは向いていると思います。必須ではありませんが、ファイナンシャルプランナーや栄養士の資格などを取得し、生活に関する悩みに答えると組合員さんからの信頼が増すと思います」

ありがとうございました。

「コープあいちは宅配のイメージが強いかもしませんが、組合員のみなさんの悩みに合わせたさまざまな商品があります。共済も、何があつたときのためにお守りとして入ってくださいとお伝えしています。『あのときに入つておいてよかったです!』と言われると、おすすめ



18歳 部活を2つ掛けもち、学園祭のオープニングをドラムソロで飾る。

22歳 大学では社会人基礎力を学び、食品関係を志望してコープあいちに入協。

26歳 地域担当として、安全運転で組合員のみなさんのお宅に商品を届ける。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



—学生時代

—なるためには



毎週金曜21時~23時 ZIP-FM 77.8『DIRECT & SPORTS』

転機になつた出来事は?
「結成から3年ほど経つたとき、名古屋で開催されたサウンドクラッシュに出場しました。そのとき相方から、「お前は覚悟が足りない。それじゃあ勝てるわけねえ」と言われたんです。当時、仕事をしながら活動していた自分への正論を言われた気がして、「中途半端じゃダメだ」と思い、自分も0か100の性格なで飯を食つてやろうと決心しました。ただ、大変だったのは会社を辞めたときに親と会社に話したので、それなら会社を辞めることになりました。両親と会社に話したが「お前の人生だから好きなように生きろ」と言ってくれたことも大きかったですね」

人生は何が起こるかわからないからこそ、常に何事にも一生懸命に取り組むことで自分では気がつかない能力に出会える。

——音楽を仕事に

「音楽活動を中心としたときに痛感したのはお金のなさですね。当時はレコードが主流ですから、毎月12万円はレコードの購入に費やして、さらに生活費とレゲエの本場であるジャマイカへの渡航費の貯金など。バイトはしていましたけど、お金が足らずに電気やガスを止められたりもありました…でもとにかく自分を追い込んで乗り越えていくというやり方を高校時代から意識していたので、辞めようとは一歩も自然になりました」

壁にぶつかった経験は?

「2008年からラジオを始めたんですけど、「レゲエを知らない人たちへ、どうレゲエという独特な音楽を伝えればいいのか?」という壁にぶち当たったんです。最初は、今まで自分がやってきたことを一般のリスナーにそのままやっても通用しないことを痛感しました」

その壁は、「どう乗り越えましたか?」
「ほかの人にはない自分の強みを探しました。その時期は、レゲエが好きな人よりも一般の人の前でライブをする機会が多くなってきたので、自分が一番活きるやり方をじっくり考えました。一般の人にもうとわかりやすく「レゲエ」を伝えるべきやいけないと思い、すごく怖い決断でしたが、思い切ってスタイルを変えたんです。それがいまの活動の中心になっている、楽曲プロデュースやラジオのパーソナリティという形でした。すばく悩みましたが、自分ならではの新しい道を見つけ、勇気を出してその道に踏み出したことで、壁を乗り越えることができました」

——やりがい

「2015年に地元名古屋で野外レゲエフェス『DIRECT』を2015を開催したときのステージは、いろんな想いが込み上げてきて泣きそうになりました。多くの人が準備段階からサポートしてくれて、当日数千人の人が会場に足を運んでくれたのを見て、みんなの気持ちが僕らの背中を押してくれたことをいまでも鮮明に覚えています」

——メツセージ

「この業界は、本当に音楽が好きじゃなければ続かないし、常に楽しむ気持ちを持つことが一番だと思います。たくさん音楽を聴いて、仲間を作つて『楽しむ』気持ち大事にしてください。僕の高校時代の夢はプロサッカー選手でした。それがいまでは音楽が仕事に。人生は何が起こるかわからないからこそ、常に何事にも一生懸命に取り組むことで自分では気がつかない能力に出会えるはずです。自分の可能性を狭めず、縛られずに常にポジティブな気持ちで頑張つてください!」

ありがとうございました。

JUNさん
刈谷工業高校出身19歳
↓
20歳
↓
40歳

サッカー部の先輩の影響でレゲエミュージックにめり込む。
BANTY FOOTを結成。さまざまなステージに立ち、経験を積む。
楽曲プロデュースやラジオパーソナリティなど活動のフィールドを広げ、活躍中!



#CCC / BANTY FOOT 2021年6月30日発売



第8弾

三河出身の有名人インタビュー

刈谷工業高校出身のミュージシャン、JUNさんを独占取材!

ラジオやステージから音楽を通して人々を楽しませるJUNさん。音楽との出会い、決してメジャーではない音楽「レゲエ」にかけた思い、楽ではなかつたです。おかげで200人の部員が2年からは公式戦に出場しています。3年のときに国体の愛知県選抜に選ばれました」

印象に残っていることは?
「ギャバテンを任されて挑んだ、高校最後の全国高校サッカー愛知県大会準々決勝。その年の優勝校となつた刈谷高校と対戦して延長の末、PK戦で一発目に自分が外して負けてしまったことです。ロスタイルで追いついて興奮冷めやらぬ状態でのPKを外してしまったので、どんな状況でも落ち着いて冷静さを保つこと、自分がやつてきたことに自信を持つことが大切だと学びました」

——音楽体験

「いま仕事にしている『レゲエ』との出会いは、社会人になってからです。週末によく遊んでいた高校の先輩の車で聞いた音楽がやけに心地よく、「何この曲? めっちゃいいやん!」と思って、これ何ですかって尋ねたら「知らねえの? レゲエだよ!」って言われて、初めて『レゲエ』という音楽ジャンルを知りました」

——音楽活動を始めたとしても、音楽を仕事にするのも大変ですよね?
「2001年に高校のサッカー部の友達を中心にBANTY FOOTを結成して、最初に身内でイベントを企画しました。それが大盛況でその後、CLUBの店長からイベントへの出演依頼があり、いろいろなステージに立つ機会が増えています。最初は遊び半分だったんですけど、出演していくなかで「誰にも負けたくね!」という思いが強くなつきました。当時は、イベントから寝ずに仕事へ行く生活が続きました」

高校時代

りました。MoominのMoonlight Dancehallだったと思います。さらに別の日に、その先輩の車でサウンドクラッシュ(レゲエの音のバトル)のテープを聞き、今まで聞いてきた音楽とはまったく違うパワーを感じたんです。互いに譲らずに言葉と音楽で「戦っている!」という感じがさらに「なんだこの音楽は?」と思わされました。それから一気に「レゲエ」にハマりました」

音楽活動を始めた経緯は?
「先輩と大きなレゲエイベントに行って、そこで初めてテープで聞いたサウンド(※のステージを見たんです。もうイベント直後に「自分もレゲエサウンドをやりたい!」と思ついました。すぐ先輩からターネークラブを売つもらひ、音楽活動をスタート。サッカーに変わつて熱くなれるものを探していたなかで見つけたのが『レゲエ』です」

——音楽活動を始めたとしても、音楽を仕事にするのも大変ですよね?
「いま仕事にしている『レゲエ』との出会いは、社会人になってからです。週末によく遊んでいた高校の先輩の車で聞いた音楽がやけに心地よく、「何この曲? めっちゃいいやん!」と思って、これ何ですかって尋ねたら「知らねえの? レゲエだよ!」って言われて、初めて『レゲエ』という音楽ジャンルを知りました」

——音楽活動を始めたとしても、音楽を仕事にするのも大変ですよね?
「いま仕事にしている『レゲエ』との出会いは、社会人になってからです。週末によく遊んでいた高校の先輩の車で聞いた音楽がやけに心地よく、「何この曲? めっちゃいいやん!」と思って、これ何ですかって尋ねたら「知らねえの? レゲエだよ!」って言われて、初めて『レゲエ』という音楽ジャンルを知りました」

——音楽活動を始めたとしても、音楽を仕事にするのも大変ですよね?
「いま仕事にしている『レゲエ』との出会いは、社会人になってからです。週末によく遊んでいた高校の先輩の車で聞いた音楽がやけに心地よく、「何この曲? めっちゃいいやん!」と思って、これ何ですかって尋ねたら「知らねえの? レゲエだよ!」って言われて、初めて『レゲエ』という音楽ジャンルを知りました」

病院で最初と最後に患者さんと 顔を合わせるのが私たち医療事務です。



なるためには

- 必要資格 / 医療事務
- 主な進路 / 高校卒業→専門学校に進学→医療事務の資格を取得→病院に医療事務として就職

野村 美和さん(1998年生まれ)

安城南高校 出身
慈恵歯科医療ファッショント専門学校 卒業

社会医療法人財団新和会 八千代病院

安城市住吉町2-2-7
<http://www.yachiyo-hosp.or.jp/>

「高校の思い出は部活動です。ソフトボール部に入っていたんですが、部員が少なく、先輩が引退したら3人になってしましました。:(笑)。普段は3人で練習し、休日はほかの高校と合同で練習をしていました。私はキャブテンを任されていましたので、そんな状況でも辞めずに最後までやり遂げたのはいい思い出です。(笑)。医療事務をめざしたのは高校3年のときです。喘息になってしまい、病院に通っていたのですが、受付の方がずっと笑顔で対応してくださいり、そのとき「医療事務つていいなあ」と思ったのがきっかけです。卒業後、専門知識を学べる慈恵歯科医療ファッショント専門学校医療事務学科に進みました」

専門時代のことを教えてください。
慈恵歯科医療ファッショント専門学校医療事務学科に進みました

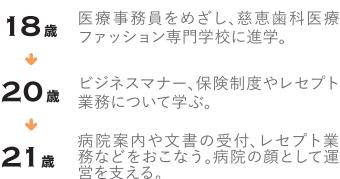
「言葉づかいなどのビジネスマナーから、医学の基礎、保険制度、医事コンピューターレセプト(※)作成などについて学びました。1年次は、手話、華道、茶道などの授業もありました。仕事を始めて今、役に立つてみると感じるのは、カルテを見て、セプト作成をする授業です。薬や処置、手術など、レセプト作成に必要なさまざまな診療内容について勉強したことなどがいかされています」

ー仕事について

「卒業後、八千代病院に就職しました。病院実習のときは積極的に行動できませんでしたが、社会に出て仕事を覚えるなかで責任感が芽生え、患者さんが少しでも困っていると感じます。」

ーやりがい

「患者さんに感謝されることがやりがいです。まだ余裕のない日々の業務のなかで、「本当にありがとうございます」とお年寄りの方にはゆっくり大きなかを確認しています。心がけているのは、常に笑顔でいること。あとでは、お年寄りの方にはゆっくり大きな声で話したり、患者さんに合わせた対応も心がけています」



先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



ー学生時代

ーなるためには

「高校の思い出は部活動です。ソフトボール部に入っていたんですが、部員が少なく、先輩が引退したら3人になってしまいました。:(笑)。普段は3人で練習し、休日はほかの高校と合同で練習をしていました。私はキャブテンを任されていましたので、そんな状況でも辞めずに最後までやり遂げたのはいい思い出です。(笑)。医療事務をめざしたのは高校3年のときです。喘息になってしまい、病院に通っていたのですが、受付の方がずっと笑顔で対応してくださいり、そのとき「医療事務つていいなあ」と思ったのがきっかけです。卒業後、専門知識を学べる慈恵歯科医療ファッショント専門学校医療事務学科に進みました」

専門時代のことを教えてください。
慈恵歯科医療ファッショント専門学校医療事務学科に進みました

「患者登録や保険証の確認、診断書や紹介状など、さまざまな文書の受付、お会計や電話対応などをおこなっています。月初は、診療情報から出たレセプトに記載されている病名と診療内容、処方薬などが正しいかを確認しています。心がけているのは、常に笑顔でいること。あとでは、お年寄りの方にはゆっくり大きな声で話したり、患者さんに合わせた対応も心がけています」



「必須ではありませんが、医療事務資格をもつていると役立つ場面が多いと思います。私は、通りやすさとオープンキャンパスの雰囲気で慈恵を選びました。少人数制ということもあり、疑問点も先生に気軽に聞けてすぐに解決できました。先生との距離が近く、アットホームな雰囲気が魅力だと思います。将来、人と接する仕事に就きたいと思っている人は、「言葉づかいを意識して学校生活を送ってほしいです。先生や先輩との関わりのなかで学ぶこと」が一番大事だと思いました。」

河村 俊吾 さん(1992年生まれ)
碧南工科高校 出身

スギ製菓株式会社
碧南市大浜上町3-85-1
<https://www.sugiseika.com/>

●必要資格 / 特になし
●主な進路 / 高校卒業→製菓関係の企業に就職→製造現場を経験→管理職として勤務

「バーレーボールをやつていて、部活漬けの高校生活。私は2軍だったのですが、1軍のサポートや後輩のフォームのチェックをしたり、下手なりに自分には何ができるかを考え部活に取り組みました。そんななかで私が目標にしたのは、バスケットボールに届くくらい高くジャンプすること。目標に向かって、日々筋トレなどの努力を重ねました。3年の途中でやっとリングを触れるようになり、努力がいかに大切なものなのかをバーレーボールを通して実感することができました。忍耐力も身につきましたし、チームプレーや信頼の大切さも学ぶことができたと思います」

――**仕事について**
「碧南出身なので、将来は碧南で働きたいと思っていました。高校に来ていた求人からスギ製菓を調べたところ、えびせん家族の製造会社だということがわかつたんです。小さいころから馴染みのあるお店だったので、身近に感じてここで働きたいと思いました」

入社当初のことを教えてください。

最初は、スギ製菓の社風、人間性の部分から学びます。特に、助け合いの気持ちや利他の精神が印象に残っています。最初の研修では、煎餅を焼くために必要な知識や機械の操作を学びました。今まで聞いたことのない調味料や原料、製造機械を使うので、最初は覚えることが多くて大変でした。中でも苦労した

「やりがいを感じるのは、何も不具合なく1日が終わったとき。ちゃんと問題なく仕事が進んでいるんだ」という達成感を味わうことができました。あとは、社員から楽しく仕事を取り組むことができていると伝えたれた時も嬉しいですね」

18歳 バーレーボール部に所属。部活を通じ、努力の大切さを学ぶ。

19歳 スギ製菓に就職。現場に配属され、煎餅の製造を経験。

29歳 25歳で主任として現場を管理する立場になり、日々、従業員が働きやすい環境を整える。



販売
営業
生産
技術
開発

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



気持ちよく働く職場環境が、おいしい煎餅を作るためには大事。

――学生時代

――なるためには



「貴重な社員が無駄なく効率的に動けるようにシフト、タイムスケジュールなどを作成しています。体制管理なども含め、社員が作業やすい環境を作ることが私の仕事です。おいしい煎餅を作るためには職場環境が大事。焼いている本人たちが気持ちよく働けていないと、おいしいものは作れませんからね。そのためにも、普段からコミュニケーションをとるよう心がけています」

「やりがいを感じるのは、何も不具合なく1日が終わったとき。ちゃんと問題なく仕事が進んでいるんだ」という達成感を味わうことができました。あとは、社員から楽しく仕事を取り組むことができていると伝えたれた時も嬉しいですね」

「資格は特に必要りません。とりあえずは第一にやる気! それが絶対的に必要です。あとは、どこに就職するとしても自分で働いていると思ってはいけません。誰かと一緒に仕事をしているという意識が大切。思いやりを忘れずに仕事に取り組んでください。私は部活などを通して培った経験を自分なりに社会で活かしていると感じます。さまざまな活動からチームワークの大切さを学び、その気持ちを心中にしつかりもって社会に出てほしいと思います!」



山口 亜耶 さん (1995年生まれ)

愛知産業大学三河高校出身

ヤマグチショクドー

岡崎市竜美中 2-1-5

https://www.instagram.com/yamaguchishokudo_5/

なるためには

●必要資格 / 食品衛生責任者

- 主な進路 / 高校卒業→独学で料理を勉強→飲食店経営者や料理人から知識や技術を学ぶ→お弁当販売とこども食堂を運営

成功者がネットや本で教えてくれる時代。私もそれを勉強したり、飲食店を経営している方の話を聞きに行つたりしました。料理人の山本千織さんが作る奇跡のお弁当といわれるchloben(チョベン)の料理教室に日帰りで行つたりもしました。昔から行動力はめっちゃあつたんです。さまざまな準備を経て、2021年に、「食材をデザインする」というコンセプトのヤマグチショクドーをオープンしました。

「SNSで、子どもがおにぎりを頬張つている写真や『おいしかったです!』というメッセージを送つてくれる方もいるので、お客様の存在を感じることができます。中には『私自身のファンです』と言つてくださる方も。そんな方々の言葉にやりがいを感じます」

の仕事を辞めていました。いまは、何をしたら夢が実現できるのかを成功者がゲソットや本で教えてくれる時代。私もそれを勉強したり、飲食店を経営している方の話を聞きに行つたりしました。料理人の山本千織さんが作る奇跡のお弁当といわれるchobien(チオベン)の料理教室に日帰りで行つたりもしました。昔から行動力はめっちゃあつたんです。さまざまな準備を経て、

月に1回、子どもも無償で食事を提供する子ども食堂を開催しています。始めたきっかけは、「子どもに優しい地域になつてほしい」という想いから。また、この活動は子どものケアと同時にお母さんを支えるためでもあります。私にも子どもがいるので、よりお母さんに寄り添つた目線で続けていきたいです」

たと思います。結局3年間、級長を任せられ、自立心を養うことができました。自身を成長させるための道を作ったつもりで、先生に「作ってもらつた」と思っています」

と自由に食へることを楽しんでほしいです。食材にもこだわりをもつていて、お弁当は五ツ星お米マイスターの方に選んでもらったお米を使ったり、ハーブソムリエの方に作ってもらつたご飯に合うハーブティーの販売もしたりしています」「こども食堂を始めた途端は?

A woman with short brown hair, wearing a black cap, a grey long-sleeved shirt, and a dark apron, is cooking in a kitchen. She is wearing a white surgical-style mask. She is holding a piece of raw chicken over a frying pan where another piece is already cooking. The kitchen has light-colored tiled walls.

「營業許可を取得するには、食品衛生責任者実務講習を受講する必要があります。それ以外に必須資格は特にありません。大切なのは、やりたいと思ったことを口にすること。それを言うことによって、まわりが自分の知らない知識を教えてくれたり、協力してくれる人を紹介してくれたりするんです。わたしもオーブンの際はまわりの人にとっても助けられました。高校時代は、何事も挑戦すること。向き不向きはやってみないとわかりません。それがわかれればあとは行動するだけですよ!」
ありがとうございました。



18歳 先生の指名もあり、3年間級長を任せられ、自立心を養う。

24歳 好きだった料理を仕事にしようと決心。準備を始める。

25歳 「食材をデザインする」をコンセプトにした、ヤマグチショクドーをスタート。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ！

<http://amb100search.com>





楠 友典さん(1994年生まれ)

豊橋南高校出身
愛知学院大学 法学部卒業

愛知県警察 安城警察署

安城市横山町下毛賀知117
<https://www.pref.aichi.jp/police/>

なるためには

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校を卒業→大学へ進学→警察官採用試験に合格→警察学校へ入校→各警察署に配属

良くも悪くも見られる仕事。

堂々とみんなに見せられる行動を心がける。

—学生時代

「高校時代はサッカー部に所属していました。部活動を通して、仲間との連携を学び、「コミュニケーション能力を高めることができたと思います。この頃から、漠然と『警察官になる』というビジョンがあり、『警察官を目指すなら法学部がいい』という担任の先生からのすすめで、愛知学院大学法学院に進学しました」

「大学時代について教えてください。」

「大学での勉強は、とにかく法律讀書でした。中でも刑法や刑事訴訟法は、警察の仕事を直接関わるものなので、一緒に勉強することでモチベーションアップにもつながりました。試験対策として活用したのは、大学の公務員講座で、教養試験や面接の対策をしてもらい、とても役立ちました。勉強以外では、友人とフットサルをするなどして体力作りにも励みました」

「**仕事について**

採用試験に合格後は、警察学校に入校しました。6ヶ月の寮生活では、法律などの知識を学ぶのはもちろんですが、忍耐力など精神的な面がとても鍛えられたように思います。朝起きてから寝るまでの生活すべてが訓練なので、良い意味で「常に見られている」という意識がつきました。特に印象に残っているのは、競歩訓練です。朝から夕方までひたすら山道を歩く訓練



「**やりがい**

「職務質問をした相手が法に触れるものを所持していたなど、自らの声かけがきっかけとなつて逮捕にながつたときはとても達成感があります。また、一つ一つは小さい事案でも、それを積み重ねていくこと

18歳 サッカー部に所属。高校卒業後、愛知学院大学法学院に入学。

23歳 警察学校では忍耐力が鍛えられ、精神的に成長。

27歳 人々の手本となる行動を心がけ、県民のみなさんが安心で安全な生活を送れるよう、日々の仕事に取り組む。

で未然に事件や事故を防ぐことにつながります。今後も県民の安心・安全な生活のために日々の公務に当たっていきます」

「まずは警察官採用試験に合格することです。試験合格後は、大卒は6ヶ月、高卒は10ヶ月、警察学校で訓練を受けます。学生の間は何か目標をもつて取り組めるものを見つけたり着けたときはとても達成感がありました」

「**仕事内容を教えてください。**

「警察学校を卒業後、最初の2年間は交番で勤務しました。交番勤務は、警察の仕事の最も基礎的なことを学ぶ勉強になる期間です。現場によつて対応が異なるなど、最初は覚えることが多く大変でした

が、困ったときは先輩や同期の助けにより乗り越えることができます。現在は、パトカーの乗務員として勤務しています。パトロールや犯罪の取締等の活動を通して地域住民の安全意識の向上や犯罪の抑止につなげています。私たち警察官は、車の運転や交通ルールの遵守など、一つ一つの行動が県民の手本となるよう、常に心がけて仕事に取り組んでいます」

「**ありがとうございました。**

「取り組んだ経験は、後にきっとプラスになりますよ!」



警察官

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>



小島 早織さん(1992年生まれ)

岡崎西高校出身

中部大学 国際関係学部卒業

岡崎市役所

岡崎市十王町2-9

<https://www.city.okazaki.lg.jp/>

- 必要資格 / 特になし
- 主な進路 / 高校卒業→大学に進学し、海外留学を経験→市役所に入所→各部署に配属

「中学、高校と吹奏楽部に入っていました。部活と宿題、朝練を繰り返す日々。当時は将来のビジョンもまったくなく、ひたすら目の前のことをこなす生活を中学も高校も送っていました。自分のことを考え余裕がなかったですね。高校卒業後は中部大学に進学しました」

「中国語中国関係学科(※)には1年次に1ヶ月間、中国へ留学するカリキュラムがありました。海外へ行くことも私の中では一大イベントだったので、意外と会話ができることで手応えを感じ、自分にとってプラスになったと思います。さらに3年次の短期留学プログラムにも参加し、上海へ留学しました。1回目は1年の学生みんなで行ったのに対し、2回目は韓国、カナダ、アメリカなどいろんな国から学生が集まっている環境。中国語を使っていろんな国の人々が交流している環境が新鮮でしたね。上海では日系企業へのインターンシップにも参加したのですが、働くということに關してイメージが湧いていなかつたのでいい経験になりました」

――仕事について

「一番うれしいのは、「すごくわかりやすかつたです。ありがとうございます!」と言つて帰つていただくこと。同じ疑問でも、求めている答えが相手によつて違います。それを会話の中から読み取るのはとても難しいで

「市役所の仕事は、課ごとにまつたく違う内容の業務をおこなっています。ただ、雑務も小さな物品購入も含め自分たちがおこなっている仕事はすべて、市民のみなさんの税金で始まって最終的に市民のみなさんに還ること。日々、感謝と市民

の気持ちは忘れず仕事に取り組む。――やりがい

「一番うれしいのは、「すごくわかりやすかつたです。ありがとうございます!」と言つて帰つていただくこと。同じ疑問でも、求めている答えが相手によつて違います。それを会話の中から読み取るのはとても難しいですが、それが相手に伝わったときの感動はひとしおです。それがお客様

――学生時代

「中学でやっていたから」という理由で高校でもそのまま入部しました。その選択をした自分に後悔はありません。でも、私はその都度、自分にできそうなことや失敗を忘れて仕事を取り組んでいます。根底にあるその気持ちが、行き詰ったときに『支えになっています』現在の仕事内容は?」

「岡崎支所に配属され、住所異動、戸籍届出、児童手当、医療助成、介護保険、年金など、さまざまなお手続きに関する業務をおこなっています。窓口で市民の方の対応をおこなうのですが、私たちが当たり前だと思っていても相手は何がわからないのかわからぬ方が多いんとえば、出生届を出すにしても、1人目の出産だとどんな手続きをし

たらしいかわからない方が多いんです。相手の様子を見て、どれだけの情報を欲しているのかを読み取る能力が必要です」



「私は高校生のときに、もっと自分と向き合つていればよかったと思いました。吹奏楽部に入りたい!」
「――メツセージ」という強い思いがあつたわけではないのに、『中学でやっていたから』

「私は高校生のときに、もっと自分と向き合つていればよかったと思いました。吹奏楽部に入りたい!」
「――メツセージ」という強い思いがあつたわけではないのに、『中学でやっていたから』という理由で高校でもそのまま入部しました。その選択をした自分に後悔はありません。でも、私はその都度、自分にできそうなことや失敗を忘れて仕事を取り組んでいます。根底にあるその気持ちが、行き詰ったときに『支えになっています』現在の仕事内容は?」

「岡崎支所に配属され、住所異動、戸籍届出、児童手当、医療助成、介護保険、年金など、さまざまなお手続きに関する業務をおこなっています。窓口で市民の方の対応をおこなうのですが、私たちが当たり前だと思っていても相手は何がわからないのかわからぬ方が多いんとえば、出生届を出すにしても、1人目の出産だとどんな手続きをし



18歳 吹奏楽部に入部。強豪校だったこともあり、部活と勉強に追われる毎日。

22歳 中部大学に進学し、中国留学を経験。海外生活を通して自信をつける。

28歳 市民のみなさんのためという気持ちを忘れずに、窓口で対応をおこなう。

先輩のインタビューをもっと見たい方は、WEBサイトへ!

<http://amb100search.com>

